

総務経済常任委員会記録簿				
会議日程	令和8年7月13日 11:35～12:10			
場所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	元井委員長	中村副委員長	池田委員	伊東委員
	向野委員			
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名	田原課長			
付議事件	・所管事務調査：農業振興に関する調査			
	・先進地事例調査（行政視察）			
担当職員名	昇書記	委員長署名	元井 直志	
会議の概要				
1. 視察の目的と候補地 農林課の田原課長より、これまでの委員会での調査（農家ヒアリング等）を踏まえ、鹿児島県本土の「南薩地域（枕崎市、南九州市、指宿市、南さつま市）」を視察先とする提案がありました。主な調査の視点は以下の通りです。 担い手確保: 国の補助対象外の層もカバーする市独自の新規就農支援策（南さつま市の現金給付や農地確保支援など）。 スマート農業: 南さつま市で実施されている県内初のスマート農業基盤整備（自動走行トラクターの導入に向けた圃場整備）のモデル事例。 直売所の活性化: 奄美での直売所立ち上げや既存施設の参考となる、南薩地域の多様な直売所事例。 高付加価値化: 柑橘類などの地域資源を活用した加工品（ジャム等）によるブランド化。 2. 進捗状況と調整 現在、南薩地域振興局の職員（牟田氏）に対し、視察に最適な場所や行程のアドバイスを依頼しており、明日（7月14日）の午前中に回答が得られる予定です。振興局職員の同行は難しいため、各自治体の農林課等へ直接依頼を出す形となります。 3. 実施時期を巡る議論 視察の実施時期について、委員の間で意見が分かれました。 8月上旬（6日等）案: 市町村研修会に合わせて実施する案が検討されました。田原課長や一部の委員は、早急な調整を想定していました。 慎重・延期論: 「実施まで3週間しかなく、準備不足で相手方に失礼にあたる」のではと。最低でも2ヶ月前には打診すべきとして、9月議会後や10月頃への延期を提案しました。 4. 結論と今後の予定 元井委員長は「このままでは段取りが悪すぎる」とし、以下の通り今後の進め方を決定しました。 明日牟田氏からの回答（視察候補のイメージ）を基に、具体的な視察先と調査項目を決定する。行き先と目的が確定次第、事務局を通じて相手方自治体への正式な打診を開始する。 実施時期については、8月案にこだわらず、明日以降の調整状況を見て判断する方針です。				